

県内の遺跡・遺物15

こどもりす え き ようせきぐん
小泊須恵器窯跡群

所在地：佐渡郡羽茂町小泊

国指定：昭和30年2月9日

小泊窯跡群は佐渡の南西に位置する羽茂町の北東部、真野町との町境付近に存在します。当地は海岸段丘が発達し、窯跡はその段丘斜面や小河川により形成された開析谷^{かいせきだに}を利用して構築されています。大正年間から開田などの耕地整理事業により多くの窯跡が発見・破壊されましたが、数十ヘクタールに及ぶ範囲に、カメ畑、栗の木沢などいくつかの支群に分かれ、30基以上の分布が確認されています。

小泊窯跡群は9世紀中葉～10世紀前半を中心に大量の須恵器生産を行い、佐渡国内のみならず越後国内にも多く供給しており、北陸地方の大規模窯跡群の一つに位置づけられています。また、佐渡国分寺の瓦も焼かれており、瓦陶兼用の窯であったと推定されています。



小泊窯跡群(カメ畑)

あしがき

現場作業も終了し、各現場様々な成果をあげて新しい職場(センター)へ引き上げてきました。これから春の訪れまで整理作業の慌ただしさが続くこととなります。2月には報告会が開かれる予定になっていますので、皆さんぜひ参加してみてください。(I)

埋文にいがた No.17

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団

〒956 新津市金津93番地1

TEL (0250)25-3981

FAX (0250)25-3986

印刷 有限会社 双葉印刷